

年末年始における冬山遭難事故防止

～万全ですか？あなたの体力・装備・計画は～

年末年始の神奈川県内の冬山には、ご来光を参拝するなどの目的を持った多くの登山者が訪れます。この時期は、登山道の凍結や降雪・積雪などのため、無理な計画・不十分な装備での登山は遭難の危険性があります。また、積雪量が多くなると、道迷いなどの遭難が特に多発する傾向にあります。

～ご存知ですか？神奈川県民が遭遇する山岳遭難事故の実数～

山岳遭難事故の発生件数で有名なのは北アルプスを管轄とする長野県ですが、神奈川県はどのくらいなのでしょう？実は長野県を除いたワースト10には大きな大差がないのです。

都道府県別の発生状況（平成26年度）

1位	長野県	272件	6位	東京都	108件
2位	富山県	133件	6位	兵庫県	108件
3位	北海道	120件	8位	岐阜県	106件
4位	静岡県	116件	9位	神奈川県	97件
5位	山梨県	110件	10位	群馬県	88件

長野県、富山県、北海道のワースト3は例年ほぼ変動がありませんが、4位から10位までは例年入れ替わり戦を展開しています。それでは、神奈川県民が全国で遭遇する山岳遭難事故の件数はどうでしょうか？

居住都道府県別遭難者数（平成26年度）

1位	東京都民	362人	6位	北海道民	121人
2位	神奈川県民	230人	7位	愛知県民	109人
3位	埼玉県民	185人	8位	千葉県民	97人
4位	大阪府民	179人	9位	福岡県民	80人
5位	兵庫県民	136人	10位	新潟県民	69人

人口の多い都心部から自然回帰を求めて地方に出張し、他県等において山岳遭難を発生

させていることが明らかな数字となっています。神奈川県民の皆さんは自覚を持って登山に臨み、他県に迷惑をかけないという気概を忘れないでください。

～次のことを心掛け、無理のない安全な登山を心掛けましょう。～

- 1 自己の体力を過信せず、経験・技術・装備に応じた山を選びましょう。
- 2 単独での登山は避け、経験豊富な人との登山を心掛けましょう。
- 3 事前に健康状態をチェックし、体調の悪いときは登山をやめましょう。
- 4 登山道の状況や気象状況を調べて、無理のない登山計画を立てましょう。
- 5 登山計画書（登山届）を、インターネットを通じて県警ホームページや登山届受理システム「コンパス」に提出するか、登山口等の投函箱に提出しましょう。
- 6 登山計画は、家族や職場にも知らせておきましょう。
- 7 分岐点では道標や登山地図等で自分の位置を確認し、道迷いによる遭難に注意しましょう。
- 8 冬期は日没が早いので、ヘッドランプ等の照明具を携行しましょう。
- 9 登山道に凍結や積雪のおそれがある場合には、アイゼンを携行しましょう。
- 10 積雪時には、登山道が見えにくくなるほか、行動に普段よりも時間と体力が必要になるので注意しましょう。
- 11 万が一に備え、非常食を携行しましょう。
- 12 連絡手段として、携帯電話を携行しましょう。
- 13 箱根周辺の山に登る場合は、噴火警戒レベル等の火山情報に注意しましょう。

